

IESS 分析レポート  
2021 年 6 月

# 社会的課題への取組みが企業の人材確保力に 及ぼす影響の分析

経済社会システム総合研究所 客員主任研究員 小島 明子  
(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター)

## 要旨

- ・ 企業価値の向上にとって極めて重要な要素と考えられる企業の「人材確保力」、具体的には就職ランキングの順位や新卒での就職3年目の定着率、平均勤続年数に、「企業の社会的課題への取組み」(ESGスコア)がどのような影響を及ぼすのかについて分析を行った。
- ・ 分析結果をみると、ESGスコアの改善は、企業の「人材確保力」の向上に貢献するという結果が示された。
- ・ まず、就職ランキングとESGスコアの相関は弱かったが、両変数を2値変数とし、「就職ランキング上位に入る・入らない」を「ESGスコアの上位に入る・入らない」で説明すると関係は明確になった。例えば、ESGスコアが上位25%に入る場合には、キャリアスの就職ランキング上位に入る確率が3倍弱程度高くなるという結果が示された(P8の表2-1の⑤式の場合、確率が6.0%から17.5%に上昇)。
- ・ 定着率や勤続年数についての分析では、ESGスコアが上位25%に入ると、従業員の定着率は約4%ポイント程度向上(p13の表3の⑥式)、また、勤続年数も約2年程度長くなる(P13の表4の⑥式)といった関係が示された。
- ・ 6分類の業種別にみると、業種により勤続年数や定着率に大きな違いのあることが示された。
- ・ 今回の分析結果からは、企業の「人材確保力」の向上のために、「社会的課題への取組み」は一定の効果があると判断される。今後は、時系列データを確保し因果関係を明確にするとともに、産業ごとの特徴をさらに明らかにすることが重要な課題である。
- ・ 本研究には、経済社会システム総合研究所の研究顧問である小塩隆士一橋大学経済研究所教授及び河越正明日本大学経済学部教授から研究指導をいただいた。ただし、本研究レポートに誤りなどがある場合、すべて筆者個人の責任である。

## 1. 問題意識

近年、ESG や SDGs など環境や社会の持続可能性の重要性を指摘する声が高まっているが、持続可能な経済社会を現実のものとしていくためには、企業の社会的課題への取組みが各ステークホルダーによつて的確に評価され、その評価が企業価値にも反映されていくことが必要不可欠と考えられる。経済社会システム総合研究所では、企業のこうした取組みが企業価値の向上に結びついているか、また、それを実現するためにどのような課題があるかなどを明らかにするため、種々の調査研究を進めている。

この調査研究の一環として、本研究では、日本の主要企業を対象として、企業価値の向上のための必須の要素と考えられる企業の「人材確保力」、具体的には就職ランキングの順位や就職3年目の定着率、平均勤続年数に着目し、それらに対して、経済面の要素である企業の給与水準と社会的課題への取組みがどのような影響を及ぼしているのかについて分析を行った。

なお、本調査研究では、企業の社会的課題への取組みを示す指標として、主要企業が開示をしている環境面、社会面、ガバナンス面での取組みに関する情報をもとに、日本総合研究所が評価をした ESG スコアを用いた。(日本総合研究所の ESG スコアの評価項目については、表1 参照)

## 2. 使用データ及び分析手法

本研究で用いたデータは、表1の通りである。本研究では、企業の単年度のデータを用いて、クロスセクションの分析を行った。主な変数の分布状況を確認するために、就職ランキングと給与及び ESG スコアの関係(図1、図2)、定着率と ESG スコアの関係(図3)、勤続年数と ESG スコアの関係(図4)について、プロット図と単回帰式を示した。

以下の分析では、被説明変数を就職ランキング(2020年)もしくは就職ランキング・ダミー(ランキングの上位50%の場合は1、その他の場合は0、もしくは、ランキングに入ると1、入らない場合は0)、定着率(2019年)と平均勤続年数(2019年)とし、説明変数は給与(2019年)、ESG スコア(2019年)もしくは ESG ダミー(上位25%の場合は1、その他の場合は0)とした。従つて、就職ランキングの推計式では、説明変数が1年のタイム・ラグを持つ形になっている。

さらに、説明変数として産業ダミーを加え、以下のような式を基本として分析を行った。

$$\text{就職ランキング(or 就職ランキング・ダミー)} = \alpha + \beta W + \gamma \text{ESG} + \sigma D + e \quad (1)\text{式}$$

$$\text{定着率(or 勤続年数)} = \alpha' + \beta' W + \gamma' \text{ESG} + \sigma' D + e \quad (2)\text{式}$$

(ただし、W は給与、ESG は ESG スコアもしくは ESG ダミー、D は産業ダミー、e は誤差項)

また、各説明変数が完全には独立でないことを考慮し、変数同士の交絡項を加えた式につ

いても分析を行った。

分析手法としては、被説明変数が連続量の場合は通常の最小二乗法を用い、非説明変数が2値変数（就職ランキング・ダミー）の場合はプロビット分析を用いた。

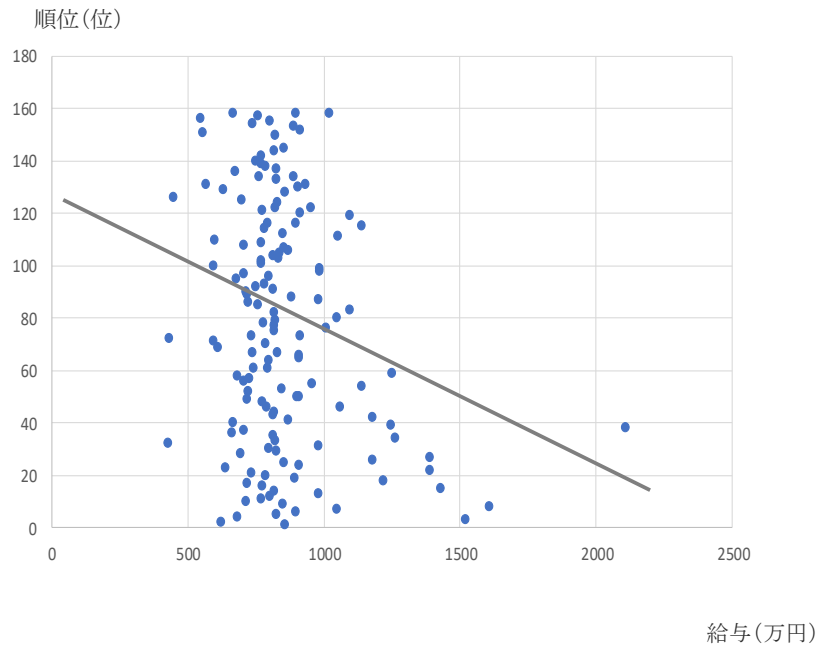
（表1）変数一覧表

変数名	説明
就職ランキング	キャリアタス「就活2021就活2021 総合ランキング」 学情「2021年卒 就職人気企業ランキング【速報】」 マイナビ「2021年卒 大学生就職企業人気ランキング」 DODA「転職人気ランキング2020総合」
就職ランキング・ダミー	ランキングの上位50%の場合は1、その他の場合は0 ランキング内は1、ランキング外は0
定着率	東洋経済新報社2020年度版CSR企業総覧に掲載されている、3年前4月1日入社の人数と直近4月1日に在籍している人数から算出した新卒3年以内の定着率
勤続年数	東洋経済新報社2020年度版CSR企業総覧に掲載されている平均勤続年数
ESG	日本総合研究所の2019年度ESGスコアデータ。EとSとGは1:1:1として、計300点を付与している。 ESGの各調査項目（大項目については下記の通り） E：環境マネジメント、事業活動における取組み（気候変動緩和）、事業活動における取組み（気候変動緩和以外）、製品・サービスにおける取組み S：公正な経済取引、顧客に対する誠実さ、労働慣行、ビジネスパートナー、ローカル／グローバル G：企業理念・サステナビリティへのコミットメント、企業統治体制、CSRマネジメント、ステークホルダーとのコミュニケーション
DESG	ESGダミー：25%の場合は1、その他の場合は0
W	東洋経済新報社2020年度版CSR企業総覧に掲載されている平均年間給与

産業ダミーの業種分類

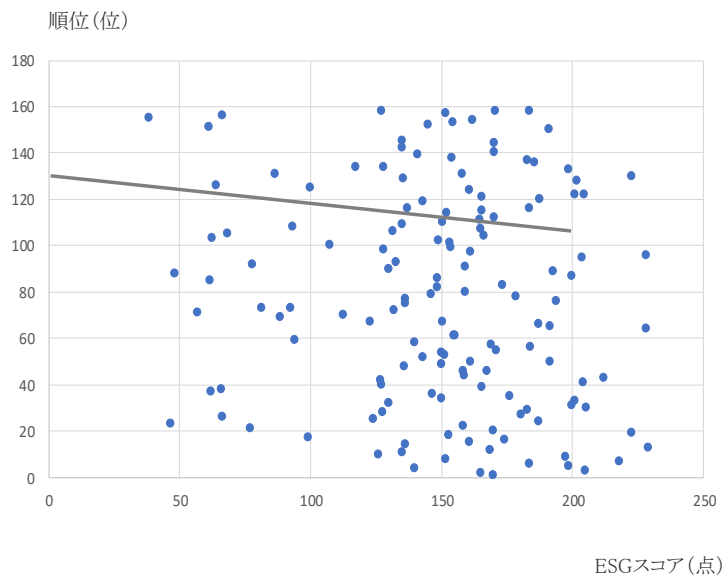
	業種	D1	D2	D3	D4	D5	D6
1	水産・農林業	○					○
2	鉱業	○					○
3	建設業	○					○
4	食料品		○				
5	繊維製品		○				
6	パルプ・紙			○			
7	化学			○			
8	医薬品			○			
9	石油・石炭製品			○			
10	ゴム製品			○			
11	ガラス・土石製品			○			
12	鉄鋼			○			
13	非鉄金属			○			
14	金属製品			○			
15	機械				○		
16	電気機器				○		
17	輸送用機器				○		
18	精密機器				○		
19	その他製品				○		
20	電気・ガス業					○	○
21	陸運業					○	○
22	海運業					○	○
23	空運業					○	○
24	倉庫・運輸関連業					○	○
25	情報・通信業					○	○
26	卸売業						○
27	小売業						○
28	銀行業						○
29	証券・商品先物						○
30	保険業						○
31	その他金融業						○
32	不動産業						○
33	サービス業						○

図1 就職ランキング（キャリアタス）と給与の関係



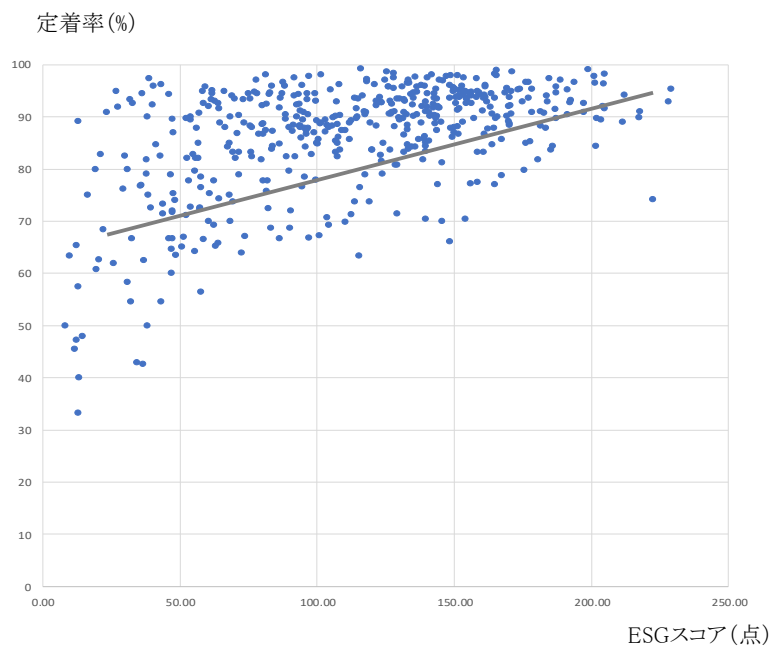
$$y=133.28-0.05\times\text{給与}$$

図2 就職ランキング（キャリアタス）と ESG スコアの関係



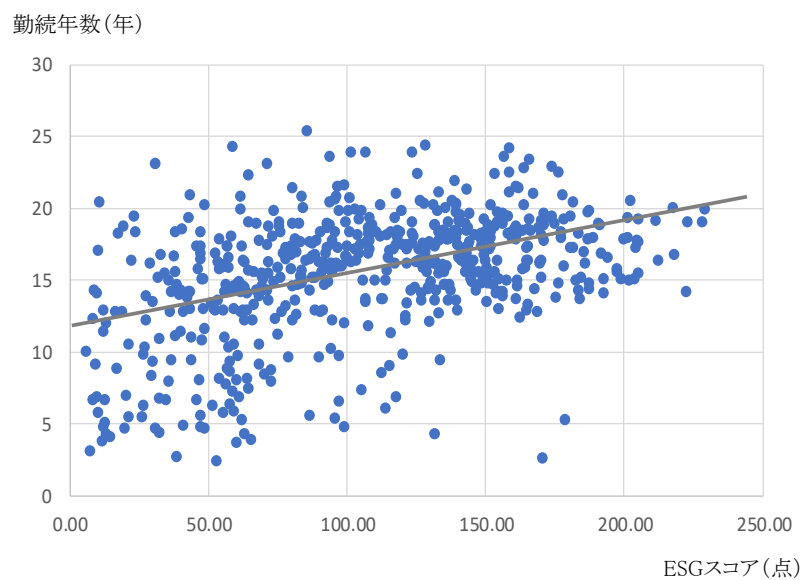
$$y=133.28-0.09\times\text{ESG スコア}$$

図3 定着率と ESG スコアの関係



$$y=65.60+0.09\times\text{ESG スコア}$$

図4 勤続年数と ESG スコアの関係



$$y=11.4+0.04\times\text{ESG スコア}$$

### 3. 分析結果

試算結果は表2～表4に示したが、主な結果を整理すると、次の通りである。

まず、就職ランキングについては、給与の影響は明確であったが、ESGスコアの影響は明確ではなかった。しかし、被説明変数の就職ランキングと説明変数のESGスコアの双方を2値変数とし、ESGダミーで就職ランキング・ダミーを説明した推計式（表2-1～表2-8それぞれの⑤及び⑦式）をみると、ESGスコアが上位25%に入る場合は、就職ランキングの上位に入る、もしくはランキングに入る確率が高まることが明確に示された。例えば、表2-1（被説明変数はキャリアスの就職ランキング）の⑤式によると、ESGスコアが上位に入る場合、就職ランキングの上位に入る確率は3倍弱程度（6.0%から17.5%へ）となり、⑦式によると、就職ランキングに入る確率は4倍程度（5.9%から24.2%へ）に高まるという結果になった。

中途採用の就職ランキングに関しても、同様の結果となった（表2-9）。

次に、定着率、勤続年数については、ESGスコアもしくはESGダミー、給与水準はプラスの影響を及ぼすという結果が示された。例えば、表3の⑥式をみると、ESGスコアが上位25%に入る場合、従業員の「定着率」は4%程度高く、また、表4の⑥式をみると「勤続年数」は約2年程度長くなるという関係が示された。

産業別にみると、製造業（D2～D4）は非製造業に比べ、定着率は高く、勤続年数は長い傾向があることなどが示された。



(表 2-1) キャリタスの新卒就職ランキングの実証分析結果

(分析対象企業：①～④145社、⑤～⑧589社)

式	被説明変数	説明変数 係数			推計手法 【自由度修正済決定係数】
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG -0.09	W -0.05***		最小二乗法 【0.06】
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG 0.11	W -0.02	積(ESG・W) -0.0002	最小二乗法 【0.027】
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG -1.45	W -0.05***		最小二乗法 【0.05】
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG 21.37	W -0.04	積(DESG・W) -0.03	最小二乗法 【0.05】
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG 0.62***	W 0.002***		プロビット 【0.10】
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG 0.35	W 0.002***	積(DESG・W) 0.0003	プロビット 【0.10】
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG 0.86***	W 0.002***		プロビット 【0.17】
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG 0.5	W 0.002***	積(DESG・W) 0.0005	プロビット 【0.17】

(表 2-2) 学情の新卒就職ランキングの実証分析結果

(分析対象企業：①～④126社、⑤～⑧589社)

式	被説明変数	説明変数 係数			推計手法 【自由度修正済決定係数】
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG 0.12	W -0.03		最小二乗法 【-0.001】
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG 0.75	W 0.08	積(ESG・W) -0.001	最小二乗法 【0.002】
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG 19.51*	W -0.04		最小二乗法 【0.02】
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG 35.03	W -0.03	積(DESG・W) -0.02	最小二乗法 【0.01】
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG 0.12	W 0.001***		プロビット 【0.02】
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG -0.02	W 0.001**	積(DESG・W) 0.0002	プロビット 【0.02】
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG 0.55***	W 0.001***		プロビット 【0.08】
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG -0.18	W 0.001**	積(DESG・W) 0.0009	プロビット 【0.09】

注：プロビット分析の自由度修正済決定係数の欄は、Cox-SnellのR<sup>2</sup>値

\*:p&lt;0.1、\*\*:p&lt;0.05、\*\*\*:p&lt;0.01 積は交絡項 (以下同様)

(表 2-3) マイナビ文系の新卒就職ランキングの実証分析結果

(分析対象企業：①～④68社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数 係数		推計手法 【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		-0.04	-0.003							
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)	最小二乗法 【0.01】					
		0.54	0.1	-0.001*						
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	最小二乗法 【-0.03】						
		0.61	-0.01							
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)	最小二乗法 【-0.01】					
		42.73	0.03	-0.05						
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.02】						
		0.22	0.001**							
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.02】					
		-0.76	0.0004	0.001						
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.03】						
		0.36**	0.001**							
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.03】					
		-0.1	0.0007	0.0006						
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	プロビット 【0.08】	
		0.59***	0.0009**	-0.77**	0.16	-1.04***	-0.73***	-0.14		
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.08】
		0.75	0.001*	-0.78**	0.15	-1.05***	-0.74***	-0.15	-0.0002	

(表 2-4) マイナビ文系男子の新卒就職ランキングの実証分析結果

(分析対象企業：①～④69社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数 係数		推計手法 【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		-0.06	0.001							
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)	最小二乗法 【0.04】					
		0.47	0.07**	-0.001**						
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		6.91	-0.004							
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)	最小二乗法 【0.06】					
		59.72***	0.03	-0.06**						
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.03】						
		0.40**	0.001***							
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.04】					
		-1.00	0.0003	0.002						
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.07】						
		0.5***	0.002***							
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.07】					
		0.13	0.001***	0.0005						
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	プロビット 【0.13】	
		0.79***	0.002***	-0.53	-0.21	-1.57***	-0.66***	-0.2		
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.13】
		0.99	0.002***	-0.54*	-0.22	-1.59***	-0.68***	-0.21	-0.0002	

(表 2-5) マイナビ文系女子の新卒就職ランキングの実証分析結果  
(分析対象企業：①～④65社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数 係数		推計手法 【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		-0.06	0.02							
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)	最小二乗法 【-0.01】					
		0.32	0.08	-0.0004						
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		-3.73	0.02							
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)	最小二乗法 【-0.03】					
		16.8	0.03	-0.03						
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.008】						
		0.37	0.0002							
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.009】					
		0.11	0.0001	0.0003						
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.02】						
		0.27*	0.001***							
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.03】					
		-0.18	0.0008	0.0006						
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.07】
		0.49***	0.001**	-0.64	0.39	-0.89***	-0.81***	-0.09		
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.07】
		0.72	0.001**	-0.65	0.38	-0.9***	-0.83***	-0.10	-0.0003	

(表 2-6) マイナビ理系の新卒就職ランキングの実証分析結果  
(分析対象企業：①～④81社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数 係数		推計手法 【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	最小二乗法 【0.04】						
		-0.19**	0.03							
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)	最小二乗法 【0.05】					
		0.33	0.14	-0.001						
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	最小二乗法 【-0.02】						
		-2.81	0.02							
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)	最小二乗法 【-0.02】					
		-48.12	-0.03	0.06						
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.05】						
		0.71***	0.0009**							
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.05】					
		1.11	0.001*	-0.0005						
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	プロビット 【0.11】						
		0.92***	0.001***							
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)	プロビット 【0.11】					
		0.99	0.001**	-0.0001						
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.16】
		0.91***	0.001***	0.90***	1.66***	0.43	0.43	0.63**		
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット 【0.16】
		0.53	0.001	0.93***	1.69***	0.47*	0.47*	0.66**	0.0005	

(表 2-7) マイナビ理系男子の新卒就職ランキングの実証分析結果  
(分析対象企業：①～④86社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数		推計手法						
		係数		【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W							最小二乗法
		-0.24***	0.005							【0.10】
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)						最小二乗法
		-0.43*	-0.02	0.0002						【0.10】
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W							最小二乗法
		-18.25**	0.004							【0.05】
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)						最小二乗法
		-38.56	-0.01	0.02						【0.05】
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W							プロビット
		1.14***	0.0006							【0.09】
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)						プロビット
		1.44*	0.0008	-0.0004						【0.09】
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W							プロビット
		0.96***	0.001***							【0.14】
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)						プロビット
		1.352**	0.002***	-0.0005						【0.14】
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5		プロビット
		0.9***	0.002***	0.73**	1.28***	0.44	0.68***	0.96***		【0.17】
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット
		0.79	0.002***	0.73**	1.28***	0.45	0.69**	0.97***	0.0001	【0.17】

(表 2-8) マイナビ理系女子の新卒就職ランキングの実証分析結果  
(分析対象企業：①～④62社、⑤～⑩589社)

式	被説明変数	説明変数		推計手法						
		係数		【自由度修正済決定係数】						
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W							最小二乗法
		-0.01	0.01							【-0.03】
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)						最小二乗法
		-0.39	-0.06	0.0005						【-0.04】
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W							最小二乗法
		9.07	-0.01							【-0.01】
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)						最小二乗法
		-49.66	-0.06	0.07						【-0.01】
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W							プロビット
		0.30	0.0008*							【0.01】
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)						プロビット
		0.88	0.001*	-0.0007						【0.01】
⑦	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W							プロビット
		0.48***	0.0009**							【0.03】
⑧	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	積(DESG・W)						プロビット
		0.66	0.001*	-0.0002						【0.04】
⑨	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5		プロビット
		0.5***	0.001***	0.94***	2.0***	0.74***	-0.08	0.25		【0.14】
⑩	ランキングダミー (ランキング内=1、ランキング外=0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット
		0.38	0.001*	0.95***	2.01***	0.75***	-0.07	0.26	0.0001	【0.14】

(表 2-9) DODA の中途採用ランキングの実証分析結果  
 (分析対象企業：①～④167 社、⑤～⑩589 社)

式	被説明変数	説明変数							推計手法	
		係数								【自由度修正済決定係数】
①	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W						最小二乗法	
		-0.26	-0.06						【0.05】	
②	ランキング (上位ほど数値は小)	ESG	W	積(ESG・W)					最小二乗法	
		-0.11	-0.04	-0.0002					【0.04】	
③	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W						最小二乗法	
		-3.34	-0.08**						【0.03】	
④	ランキング (上位ほど数値は小)	DESG	W	積(DESG・W)					最小二乗法	
		4.07	-0.07	-0.01					【0.02】	
⑤	ランキングダミー (ランキング上位50%以内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W						プロビット	
		0.58***	0.002***						【0.09】	
⑥	ランキングダミー (ランキング上位50%以内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W	積(DESG・W)					プロビット	
		0.54	0.002***	0.00005					【0.09】	
⑦	ランキングダミー (ランキング内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W						プロビット	
		0.83***	0.002***						【0.16】	
⑧	ランキングダミー (ランキング内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W	積(DESG・W)					プロビット	
		0.22	0.001***	0.0008					【0.16】	
⑨	ランキングダミー (ランキング内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	プロビット	
		0.97***	0.0019***	-0.65**	0.42	-0.54***	-0.31*	0.44**	【0.21】	
⑩	ランキングダミー (ランキング内 = 1、ランキング外 = 0)	DESG	W	D1	D2	D3	D4	D5	積(DESG・W)	プロビット
		0.53	0.002***	-0.64**	0.43*	-0.52***	-0.29	0.45**	0.001	【0.21】

(表3) 新卒採用者の3年以内後の定着率の実証分析結果(分析対象企業: 488社)

式	被説明変数	説明変数 係数							推計手法 【自由度修正済決定係数】
①	定着率	ESG 0.09***	W 0.01***						最小二乗法 【0.30】
②	定着率	ESG 0.31***	W 0.05***	積(ESG・W) -0.0003***					最小二乗法 【0.35】
③	定着率	ESG 0.07***	W 0.02***	D1 1.53	D2 4.99***	D3 5.85***	D4 7.12***	D5 5.65***	最小二乗法 【0.35】
④	定着率	ESG 0.08***	W 0.01***	重化学工業 3.79***					最小二乗法 【0.33】
⑤	定着率	ESG 0.24***	W 0.04***	D6 -11.78***	積(ESG・W) -0.0003***	積(ESG・D6) 0.06***	積(W・D6) 0.002		最小二乗法 【0.39】
⑥	定着率	DESG 4.38***	W 0.02***						最小二乗法 【0.19】
⑦	定着率	DESG -3.08***	W -0.0003	積(DESG・W) 0.00000001***					最小二乗法 【0.26】
⑧	定着率	DESG 2.22***	W 0.02**	D1 2.15	D2 7.50***	D3 7.74***	D4 9.07***	D5 6.58***	最小二乗法 【0.29】
⑨	定着率	DESG 19.61***	W 0.03***	D6 -13.6***	積(DESG・W) -0.02***	積(DESG・D6) 4.06*	積(W・D6) 0.01		最小二乗法 【0.29】
⑩	定着率	DESG 3.22***	W 0.02***	重化学工業 5.02***					最小二乗法 【0.24】

(表4) 勤続年数の実証分析結果(分析対象企業: 589社)

式	被説明変数	説明変数 係数							推計手法 【自由度修正済決定係数】
①	勤続年数	ESG 0.04***	W 0.000001						最小二乗法 【0.20】
②	勤続年数	ESG 0.08***	W 0.01***	積(ESG・W) -0.00006***					最小二乗法 【0.21】
③	勤続年数	ESG 0.03***	W 0.0008	D1 2.68***	D2 2.49***	D3 2.76***	D4 2.82***	D5 1.05***	最小二乗法 【0.26】
④	勤続年数	ESG 0.03***	W 0.001	重化学工業 1.72***					最小二乗法 【0.23】
⑤	勤続年数	ESG 0.05***	W 0.01**	D6 -4.91***	積(ESG・W) -0.00004***	積(W・D6) -0.00004	積(ESG・D6) 0.03***		最小二乗法 【0.28】
⑥	勤続年数	DESG 2.43***	W 0.003**						最小二乗法 【0.10】
⑦	勤続年数	DESG 7.16***	W 0.005***	積(DESG・W) -0.01***					最小二乗法 【0.11】
⑧	勤続年数	DESG 1.58***	W 0.003***	D1 3.14***	D2 3.44***	D3 3.43***	D4 3.54***	D5 1.3**	最小二乗法 【0.21】
⑨	勤続年数	DESG 1.89***	W 0.003***	重化学工業 2.21***					最小二乗法 【0.16】
⑩	勤続年数	DESG 4.85***	W 0.002	D6 -5.48***	積(DESG・W) -0.0000005**	積(DESG・D6) 1.5*	積(W・D6) 0.0000003*		最小二乗法 【0.20】

#### 4. 考察及び今後の課題

今回の分析により、企業の社会的課題への取組みは企業の「人材確保力」の向上に寄与し、ひいては「企業価値」の向上にも貢献する可能性が高いことが示された。

特に、ESG スコアが上位に入る企業においては、その特徴が強い。社会的課題への取組みを行う企業は、新卒、あるいは転職人材、既に入社をしている人材から見た場合に、魅力のある企業として評価されているといえる。したがって、社会的課題への取組みを行うことは、企業にとってコストと考えられることもあるが、本調査研究は、むしろ優秀な人材の獲得や維持につながるものであることを示唆している。

今後の課題としては、クロスセクションデータで行った今回の分析を、時系列データを用いた分析に拡張し、因果関係をより明確にすることが重要である。また、今回の分析では、ESG スコアとして日本総合研究所の評価を用いたが、他の機関の ESG スコアを用いた分析などと比較検討することが重要と考えられる。